



発行所 名寄市徳田204番地1
 北海道名寄高等学校同窓会
 事務局 TEL 01654-3-6842
 FAX 01654-3-6841
 発行人 会長 山崎博信 (名高4期)
 印刷所 北方印刷

「名高風」〜名高の流儀〜

北海道名寄高等学校長

鈴木 聡



九四年の伝統を刻む名門校に着任し、早半年が過ぎました。文武両道に邁進する素直な生徒、熱心な教職員、そして理解あふれる保護者の皆様と共に、充実した日々を送らせていただいております。

同窓生の皆様には、日頃より母校の教育活動に対してご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。そして、皆様から感じる情熱溢れる母校愛に身の引き締まる思いがしております。

校舎に続く真っ直ぐな道を登下校する風景が何とも気に入っています。どの学校にも独特の風景があって、それは人がそれぞれに持つ青春の原風景でもあると思います。HR教室と自分の席、たくさんの廊下と階段、図書室や音楽

室、体育館、グラウンド、校庭。記憶の中の風景は、その頃の自分を仲間と共によみがえらせてくれます。今もし旧友と母校の校舎を歩くことができたなら、髪の毛の白い同輩たちが、言葉も仕草も当時のままに戯れるに違いありません。

改築十一年を経た名寄高校の校舎は新しく、旧校舎の思い出は残っていませんが、校地に漂う懐かしい風においや時間の流れを感じることはできるのだと思います。そして、ここに集う名高若人たちの今は、紛れもなく彼らの大切な原風景になるのだと、今日もまた、夕日の中を下校する若人の姿を眺めながら思う私があります。

最後に、今年度名高祭プログラムの巻頭言をもって名高の今を共有していただければと思います。

【「ひたすらに心を組み、今を魅せろ！ 名高若人！」】

「塔組は木組。木組は木の癖組。木の癖組は人組。人組は人の心組。」

第六十七のテーマ「名高祭の個性（くせ）が強い！」を聞いたと

き、すぐにこの言葉を思い出しました。これは、樹齢千三百年の檜の木の組み合わせだけで建っている法隆寺五重塔の解体修理を行った「最後の宮大工棟梁」西岡常一氏の言葉です。氏はこの言葉について「木を活かして使うには、まず木の心を読み、木の癖を知らなければならぬ。そのことは、様々な性格を持つ人々の協力によって、一つの事業を完成させるのに似ている。」と言っています。流行のフレーズを取り入れたテーマだが、これがどうして中々奥深いことに気づくのです。

学友会執行部や実行委員、クラス、学年の取り組みが融合し感動が共有されたとき、名高アイデンティティーの実感はより鮮明になり、互いの心が響き合う喜びを感じるに違いありません。勿論、人と人が響き合うには相応の努力が不可欠ですし、様々な障壁を「協調・協働・協力」によって乗り越えた先にこそ「誇（ほこり）」や「響（ひびき）」の実感は待っています。そして、それは紛れもなく各々が伝統の紡ぎ手であることの自覚へ繋がるはずであり、文化祭の意義はまさにそこに集約されるのです。

学校の環境は地域の方々の理解と協力の上に保たれています。

その意味でも名高祭は、常日頃からお世話になってる地域や保護者の方々との連帯感を深め、感動を共有する素晴らしい機会でもあります。この祭典が、名高の情熱溢れる最高の文化通信となることを心から願っています。ひたすらにだよ！名高若人！

名高の若人たちだからこそ担えるのは、一世紀に垂んとする時間の中で創られた、決して目には見えない名高だけの流儀なのだと思います。そしてそれは、いつの時代もしっかりと受け継がれ、柔軟に生き続けるものだと思うのです。それが「名高風」であり、ここを巣立つ若人のみが得られる「矜持」なのだと思うのです。

どうか今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



平成二十七年年度 名寄高校同窓会総会・懇親会実施される

総会・懇親会盛会に終了

平成 27 年度名寄高校同窓会総会・懇親会が去る平成 27 年 10 月 9 日（金）に例年通り名寄市のグランドホテル藤花にて、約百余名の参加を頂きまして、盛会のうちに、終了しました。

総会では、山崎博信同窓会長、丸山年民名寄高校校長から挨拶を頂いた後、久保和幸名寄副市長より祝辞を頂きました。その後、議事に移り、26 年度の各報告、27 年度の計画等、全ての議案が承認され、無事に総会を終えることができました。参加していただき、同窓会会員の皆様のご理解とご協力が心より感謝いたします。

総会後の懇親会は、当番幹事である名高 31 期、41 期、51 期の方々のご尽力で盛会に行われました。また、協賛いただきました各商社様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

一般会計の支出について

一般会計の支出について、事務局より、「一般会計の『雑費』の項目の予算の範囲内で高校生の学習を支援するための支出を認めてほしい」という案が提出されました。

これは、①現在、様々な活動は受益者負担の考え方が主流であり、生徒の活動が制限されてしまうことが多く、同窓会からの経済的な支援が欲しい。②同窓会主催または協賛の事業を行うことで、高校生に同窓会の存在について、

て意識してもらおう機会としたい。③これらの事業を会報等を通して会員に知らせることによって、高校への理解を深めてもらいたい。といった理由によって提案されました。

予算の執行は同窓会長及び同窓会名誉会長の承認によって行い、次年度の役員会並びに総会で報告します。これはできるだけ速やかな執行をす

今後の同窓会の活動を考えますと、若い世代の力が必要になると思えます。彼らが高校生のうちから少しでも同窓会という組織を知り、卒業後には同窓生として高校と繋がりを保つことによって、同窓会の活動をより強固なものになればと考えております。

札幌ピヤシリ会

平成 27 年 10 月 3 日（土）に京王プラザホテル札幌において記念すべき 60 回目の札幌ピヤシリ会（名高札幌支部同窓会）が開かれました。本部からは石原英聡名寄高校教頭、島影論同窓会事務局長が出席しました。節目となる 60 回目の総会には山森鉄夫会長を始めとする役員の方々のご尽力により、総会、懇親会、余興とも盛会のうちに終わりました。

支部だより

東京支部総会

平成 27 年 9 月 5 日（土）に東京のサンシャイン 60 において東京支部総会が開かれました。本部からは橋場利夫副会長、石原英聡名寄高校教頭が出席しました。総会が 11 時より開かれ、11 時 30 分より藤原弘昭氏（33 期 後志総合振興局）による「ボンスのイトウ学」と題する講演が



平成 27 年度 協賛商社一覧 敬称略順不同

- | | |
|-----------|---------------------|
| 青野海産物店 | 柴田時計店 |
| サバト家具店 | 湯川名文堂 |
| 定木税理士事務所 | 森実商店 |
| 黒川商店 | 喫茶 ブラジル |
| 東洋製麺 | 梅野博・新事務所 |
| 村西運輸 | 大野組 |
| 北星信金 | 辻薬局 |
| 木賀商店 | 北昭産業 |
| 宮崎靴スポーツ | ダスキン滝沢 |
| 池田薬局 | 昭和産業 |
| 吉川印刷 | 三津橋農産 |
| 志水商店 | 谷組 |
| スタジオ稲葉 | (株) 振興公社 なよろ温泉サンピラー |
| 喜信堂 | 第一建設 (株) |
| 松前陶器店 | (株) グリーン薬局 |
| 喜多印刷所 | 緑や |
| (株) 坂下組 | かまくん本舗 |
| 須磨スポーツ | 有限会社ラヂエーター田中 |
| 倉澤組 | やきとり玉ちゃん |
| カメラの写楽 | スナックは一ふ |
| 清水金物店 | 菅原道北削蹄所 |
| 新光電気 | ふうれん特産館 |
| グランドホテル藤花 | ひがしのファーム |



東京支部より
クリアファイルが寄贈される

名寄高校同窓会東京支部より、高校生に対して「がんばれ名高生」と校訓「集中之行」と印刷されたクリアファイルを一枚ずつ配布させていただきました。



このファイルには、「将来、現役生徒がひとりでも多く関東に来て活躍して欲しい」「この支部活動の後継者になって欲しい」「そのために勉強或は自己研鑽に励んで欲しい」という願いが込められており、現役生徒を激励する目的で送られたものです。

手にした生徒は授業のプリントや通信などを保管するために活用しています。東京支部の皆様本当にありがとうございました。

名寄高校の状況

勉強合宿

平成 28 年 7 月 16 日(土)から 18 日(月)にかけて美瑛町の国立大雪青少年交流の家に勉強合宿が行われました。3 年生 84 名が参加し、熱心に勉強に取り組みました。自学自習が基本ですが、名寄高校の教員による講習も行われ、学校祭終了後に受験に向けて気持ちを切り替えるために企画されているもので、生徒たちは気を引き締めて勉強に臨んでいました。なお、この勉強合宿には同窓会より

平成 27 年度 学校別合格者数 (大学関係のみ)
() は推薦・AO 入試の内数

	学校名	合格者数
国公立大学	北海道教育大学 函館校	1
	小樽商科大学	1 (1)
	帯広畜産大学	1 (1)
	室蘭工業大学	7
	北見工業大工	2
	名寄市立大学	7 (5)
	釧路公立大学	2 (1)
	国際教養大学	1 (1)
	高崎経済大学	1
	合計	23 (9)
私立大学	北海学園大学	20 (1)
	北星学園大学	15
	札幌大学	8
	札幌学院大学	11
	藤女子大学	4
	道都大学	1
	北海道科学大学	10
	北海道薬科大学	1 (1)
	北海道医療大学	19 (3)
	北翔大学	1
	北海道文教大学	9
	札幌保健医療大学	4
	日本医療大学	1
	日本赤十字北海道看護大学	3
	千歳科学技術大学	1
	北海商科大学	3
	酪農学園大学	3
	天使大学	2 (2)
	北海道情報大学	1
	東海大学	1
	旭川大学	1
	八戸工業大学	1
	新潟医療福祉大学	1
	新潟リハビリテーション大学	1
	つくば国際大学	1
	群馬パース大学	1
	工学院大学	1 (1)
	桜美林大学	1
	日本大学	2 (2)
	東洋大学	1
	東京音楽大学	1
	国立音楽大学	1
	神奈川工科大学	1 (1)
	東海学院大学	1
	豊橋創造大学	1
	名古屋経済大学	2
名古屋女子大学	1	
関西福祉科学大学	1	
くらしき作陽大学	1	
西九州大学	1	
合計	140 (11)	



バス代の補助金を頂いております。

北大見学会

平成 28 年 7 月 17 日(日)～18 日(月)の日程で、2 年生を対象に、北海道大学見学会及び駿台予備校特別授業が行われ、34 名が参加しました。1 日目に卒業生で現役の北大生に北海道大学内を案内していただきました。2 日目は朝から駿台予備校へ行き、英語・数学・国語の授業をそれぞれ 2 時間ずつ受けました。駿台予備校の協力もあり、予備校の第一線で活躍されている先生方の授業を受けることができました。生徒たちにとってはとてもよい刺激になりました。なお、この事業に対しまして同窓会よりバス代の補助をいただいております。

金メダルおめでとう

リレハンメルユースオリンピック2016カーリング混合ダブルスで本校在籍の松澤弥子さん(当時高1)が見事に金メダルを獲得し、佐々木穂香さん(当時高2)が4位に入賞しました。

国際大会での素晴らしい活躍を讃えて同窓会で看板を用意しました。名寄高校の部活動ではありませんが、大きな舞台での活躍を今後も期待したいと思います。

さらに、松澤さんは国際的に活躍したスポーツ選手・指導者を表彰する文部科学大臣スポーツ功労賞、第33回北海道体育協会表彰で表彰されました。



松澤さんは「歴史ある賞をいただけただけで本当に嬉しかったです。北海道体育協会の表彰式ではユース五輪で知り合った選手にも何人か会うことができました。ユース五輪に出場できたことに改めて感謝しました。これからこの賞にふさわしい選手にな

れるようにがんばります」と感想を述べた。(名寄高新聞 第1612号より)

同窓会報50号の原稿募集

平成29年7月発行予定の同窓会報50号の原稿と広告を募集しています。会報の掲載内容は、同窓会各員や各支部地区役員、同窓生個人、旧職員の原稿、支部より、同期会だりより、同窓生・現役高校生の活躍状況などがあります。

寄稿先は事務局(〒096-0007 名寄市字徳田204 名寄高校同窓会 TEL 01654-36841 名寄高校 島影)までご連絡ください。原稿は各自のパソコンで作られたものでも、手書きでもかまいません。写真と一緒に貸していただければありがたいです。



各支部からのお願い

近年、各支部の活動において若い力が不足しています。各支部の活動を存続させていくには、若い方の力が是非必要です。札幌及び東京近郊にお住まいの同窓生の方で各支部の運営に協力いただける方を探しています。

「同窓会の仕事はボランティアで何のメリットもない」、「忙しいので自分ではできない」などとは言わずに、お力を貸していただければと思います。メリットが何もないわけではありません。名寄高校の同窓生はいろいろな所で活躍されている方が多くいらつしやいます。そういった方々との人脈は何よりも大きな財産になるのではないかと思います。

お力を貸していただけの方がいらつしやいましたら、名寄高校事務局までお問い合わせください。

平成28年度及び29年度総会日程

今年度(平成28年度)の本部総会・懇親会は、平成28年10月14日(金)18時30分からランドホテル藤花で開催されます。当番幹事は、名高32期、42期、52期の方々です。

また、来年度(平成29年度)は名高33期、43期、53期の方々による当番幹事で、平成29年10月13日(金)18時30分からランドホテル藤花で開催される予定です。

後記

この何年か事務局として同窓会の仕事に関わって、いろいろな方と接する機会がありました。札幌支部や東京支部の方とお話をする機会があったり、メールのやりとりがあったりしました。あるいは同窓生の方が本校を訪ねてくださることもあります。そして、総会などの準備を進めたりと、同窓会の仕事をしています。

「同窓会って何だろう」という素朴な疑問が浮かんでくることもあります。それぞれの期の同窓会があり、それを総括する組織があり、札幌や東京には支部という組織があり、関わっている人も関わり方も違います。その全てを「同窓会」と呼ぶのは、何とも不思議な感じがします。ただ、共通しているのは、名寄高校を通じてつながっているということです。そして、そのつながりは一人一つしか持つことができません。誰かが手に入れたら、それはありません。その意味では不思議ではありますが、貴重なものなんだとつくづく感じます。

今年も会報の発行が遅くなつてしまいましたことをお詫び申し上げます。(島影)

